

発言No.

10

受付No.

7

令和3年 8月 24日

8時 24分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 20 番

氏名 西田清久

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 周布橋の復旧について

- ① 通勤、通学など市民生活に欠かせない周布橋が、令和3年8月豪雨の影響で橋げたの一部が下がり、現在通行止めとなっているが、早急に復旧させるための市の考えを問う。

2 浜田市のテレワーク（リモートワーク）やワーケーション推進の考え方について

- ① 新型コロナウイルス感染症の拡大や線状降水帯などによって毎年各地で起こる集中豪雨や自然災害により、人々の生活や仕事の形態が変わらざるを得ない現状がある。浜田市においても増加する空き家、空き店舗や空き公共施設の活用と温泉や伝統芸能、郷土料理、里山文化など地域資源を活かしたテレワークやワーケーションの推進について考えを問う。

3 人材育成の考え方について

- ① 少子化、高齢化、人口減少により、どの産業分野においても、生活地域においても人材不足、マンパワー不足は否めない。人口減少対策は多くの地方自治体が行っており、自治体間の特典競争による人材の引き合いにも限界があるし、長い目で見ると効果がどこまで上がっているのか検証も不透明な感がある。そうすると人口を増やすという視点から人材を育てるという視点に主眼を切り替えてみてはどうかと思うが、所見を問う。
- ② 浜田市には、バランスのとれた豊かな自然環境や、誇れる歴史・文化・伝統産業などお宝資源は多い。将来の浜田市を担い、新たなまちづくりのパイオニア人材を育むための「人材育成都市宣言」を全国に先駆けて発信してはどうか。また、子どもから高齢者全ての市民の権利と役割を明記した（仮称）「人材育成都市条例」を検討してはどうか問う。